

3. 意見の内容と市の考え方

番号	2	事業名	岩村田地区北部への新小学校建設事業	担当課	学校教育課	
重点施策の分類	安全安心な子育て支援			予算要求額	当初予算額(案)	意見件数
				12,620	2,138	41
事業内容	<p>現在、岩村田小学校は、学級数が31を超えている過大規模校となっており、今後も学級数が増加し、教室の不足が見込まれます。</p> <p>そのため、適正規模（12～18学級）の新小学校を岩村田地区北部に分離新設します。新小学校の建築により、現岩村田小学校も適正規模校となり、快適で安全安心な教育環境を実現することができます。</p> <p>平成22年度は、建設候補地の農振地域除外申請や不動産鑑定、現況測量を実施するとともに、新小学校のコンセプトや教育方針等の立案、基本計画の策定等、専門的な視点から学校施設の企画を担当する新校企画専門員の配置を行います。</p> <p>総事業費：4,150,719千円</p>					
いただいたご意見の要旨				担当課の回答		
<p>(1)岩村田小学校の実態から早期に新小学校の建設を望みます。</p> <p>他、早期建設要望・・・21件</p>				<p>(1)岩村田地区北部の新小学校につきましては、現在、長土呂地区に用地を確保し、早期に学校建設ができるよう作業手続きをしております。建設に係る事業費については、国からの補助金や国からの補てんのある借入金等により、市の支出ををできるだけ少なくできるようにまいります。</p>		
<p>(2)基本的には賛成。ただし、建設予定地に問題あり。通学地区の中心ではなく、中佐都に隣接し一般的、経済的に不合理であり、作為が感じられる。小田井地区のスクールバスも解消されない。</p> <p>他、基本的賛成（意見・要望）・3件</p>				<p>(2)これまで、区長会を中心に考えられてきた方々の思いを大事に、通学区及び建設予定地も検討していただきました。現在の候補予定地は、岩村田北部小学校（仮称）建設促進検討委員会で話し合われてきたものを基本としております。多くの皆さんの同意をえています現在の場所で新小学校の建設計画をすすめ、早期に子どもたちの学習環境の改善を図りたいと考えております。</p>		
<p>(3)現小学校の学校環境の改善と耐震性の対応をしてほしい。</p> <p>・・・他4件</p>				<p>(3)岩村田小学校は昭和46年から48年の建築のため、教育環境等の改善が必要となっておりますが、現在の児童数の中で改築することは困難な状況であります。その理由としましては工事による児童の安全面、また、改築中に学習を行う場所がなくなり学習の継続性がそこなわれることからであります。</p> <p>また、地震対策につきましては、どのようなことが行えるのか調査研究をしているところです。</p>		

番 号	2	事業名	岩村田地区北部への新小学校建設事業	担当課	学校教育課	
重点施策の分類	安全安心な子育て支援			予算要求額	当初予算額(案)	意見件数
				12,620	2,138	41
事業内容	<p>現在、岩村田小学校は、学級数が31を超えている過大規模校となっており、今後も学級数が増加し、教室の不足が見込まれます。</p> <p>そのため、適正規模（12～18学級）の新小学校を岩村田地区北部に分離新設します。新小学校の建築により、現岩村田小学校も適正規模校となり、快適で安全安心な教育環境を実現することができます。</p> <p>平成22年度は、建設候補地の農振地域除外申請や不動産鑑定、現況測量を実施するとともに、新小学校のコンセプトや教育方針等の立案、基本計画の策定等、専門的な視点から学校施設の企画を担当する新校企画専門員の配置を行います。</p> <p>総事業費：4,150,719千円</p>					
いただいたご意見の要旨				担 当 課 の 回 答		
<p>(4)新校企画専門員の配置に賛成です。委員会の設置を望みます。</p> <p>・・・他1件</p> <p>(5)事業費は、借入金、市税等によらないで、合併特例債を使えないか。</p> <p>(6)予算計上は実行に移すため必要だが、金額の根拠が明らかでなく、事業費が適当かどうかの判断ができない。</p> <p>(7)41億5千万円の事業費は無駄です。小田井、荒宿、住吉地区は平根小学校、長土呂西部は中佐都小学校へ通学区を変えたらどうか。今は過大規模だが25・26年ころには児童も少なくなる。岩村田小学校の改築を早くしたほうがよい。...他5件</p>				<p>(4)新校企画専門員を配置して、新しい学校を地域の皆でつくるという考えのもとに、広く意見をお聞きして進めていきたいと考えております。</p> <p>(5)合併特例債は、本事業は該当いたしません。合併特例債は 合併市町村の一体性の速やかな確立を図るため、 均衡ある発展に資するため、 地域住民の連帯の強化などのため、 に行う事業に対して、借り入れることができるものであります。事業費につきましては国の補助金等を予定しております。</p> <p>(6)事業費の算定にあたっては、現時点における概算の事業費ではありますが、同規模事業の事業費を基に算定をしております。事業実施にあたっては建設物価などから建築費を積算して、入札などにより事業を実施してまいります。</p> <p>(7)岩村田小学校の21年度の児童数は、1,042人です。27年度には1,182人と推計をしています。ご意見のように通学区を変えることは、平根、中佐都小学校とも教室数確保のための改築、これまでの地域社会のつながりの変化に対する住民の協力など、違う面での対応が必要となってまいります。このため、早期に北部地区に新小学校を建設してから、現岩村田小学校の改築をすることが最善と考えております。</p>		